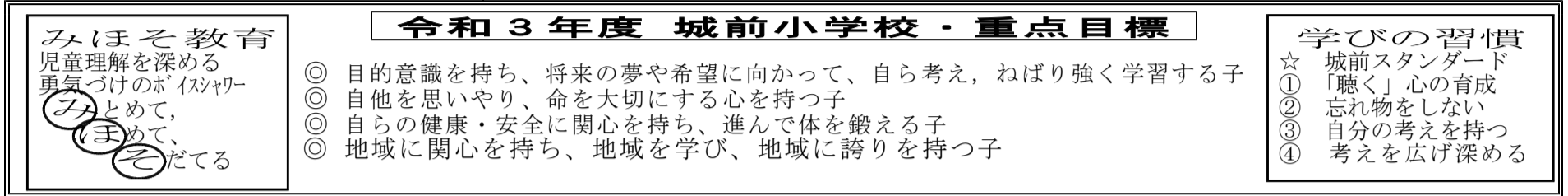
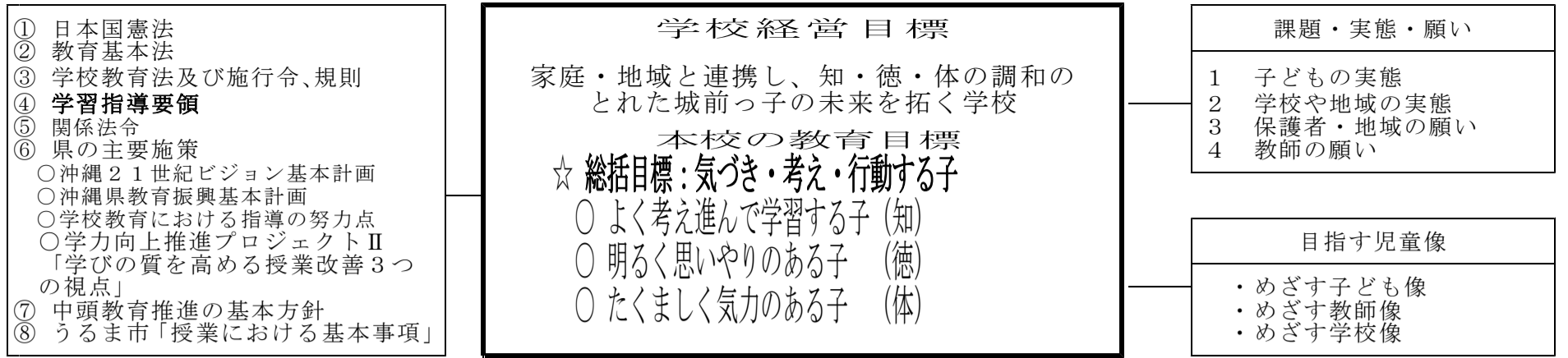
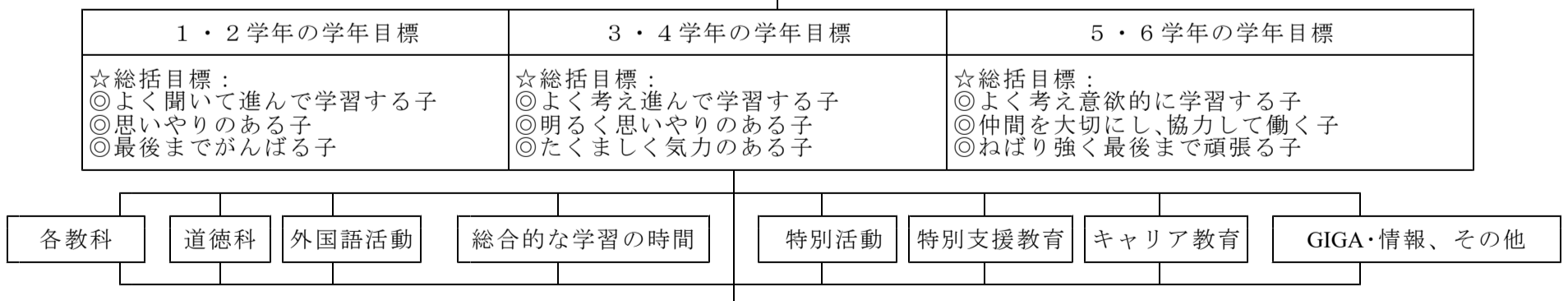


1. 本校教育目標の具現化の全体構想図



| 学校経営方針 気づき・考え・行動し、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育む | | | | |
|---|---|---|---|--|
| 「確かな学力」の向上 目的意識を持ち、主体的に気づき・考え・行動する子 | 豊かな心の育成 自他を思いやり、命を大切にする心の育成 | 健やかな体の育成 健康保持・体力の向上 | 家庭と連携した教育の推進 | 校内研修・OJT・業務改善 |
| 1 全国学力調査、県到達度調査、市学びの確かめ等で本校の実態を把握し、課題に対する対応策を協議する。 2 学力向上マネジメントによる確かな学力 (1) 授業改善による「分かる授業」で確かな学力 (2) 学力の定着（既習漢字の読み100%、単元テスト80点80%以上、補習・再テスト） (3) 授業と評価の連動、授業と家庭学習の連動 (4) 全国学力・学習状況調査、県学力到達度調査で県平均を上回る。→自己肯定感を高める 3 キャリア教育の視点を踏まえた確かな学力 (1) キャリアパスポートを活用し、夢の記録や努力したことを振り返り、主体的に学びに向かう力を育む (2) 学習や勤労の意義を知り、目的意識を持ち、自ら考え、粘り強く行動(学習)する。 (3) 将来の夢に繋ぐ確かな学力と学びの連続性 4 「わかる授業」の充実による確かな学力向上 (1) 問いを工夫し「主体的・対話的」で「深い」学びによる3つの資質・能力を生かした授業作り (2) 学力向上推進プロジェクトII「3つの視点の推進」 (3) うるま市共通実践項目の徹底（「評価・改善」：学習評価の充実） (4) 読書活動や掲示教育や板書＝ノート指導による言語活動の充実と言語環境の整備 (5) OJTやOFF-JTによる主体的な研修 (6) ICT機器(GIGAスクール)を活用した授業改善 (7) 城前小スタンダードによる学習規律の確立 | 1 「考え・議論する道徳」 (1) 自分事と捉え、問題解決的学習・体験的な学習を効果的に行う。 (2) 導入等を工夫し、自分の考えを確実に持たせる。 (3) 学校や家庭生活と関連付け道徳的実践力を育む 2 生命を尊重する道徳教育、 (1) 人権教育、平和教育・福祉教育の実践 (2) 児童理解、いじめ根絶 ・学校いじめ防止基本方針を確認し共有する。 ・いじめの未然防止・早期発見・早期対応、解決 ・いじめアンケートの活用 ・毎学期の教育相談週間 ・毎月の人権教育の充実（第三木曜日の人権の日） ・情報モラルの充実 ・ふわふわ言葉の推進（勇気づけのボイスジャーナル） 3 特別支援教育の充実 (1) 校内研修で理解を深める (2) 支援学級と交流学級の連携協力協働で共に成長する (3) 居場所の確保 4 心に響く体験活動の充実 ・保幼小交流学習 ・朝の活動、美化デー等勤労活動 ・福祉体験・平和活動 ・地域連携の積極的参加 ・学習環境の整備 ・靴等を揃える ・夢と活力を与える学校行事 | 1 できる体育学習 (1) 全国体力・運動能力、運動習慣調査等で実態把握 (2) できる運動実践 ・基本スキルを取り入れ基本的な運動を身につけさせる ・場やルールの工夫し楽しい運動。 (3) 一校一運動の模索 (4) 部活指導者・保護者会との連携 ・心と体の健全育成 ・指導者連絡会・協働 2 健康教育の充実 (1) 保健指導の充実 ・ぶくぶくうがい ・薬物乱用防止教室 (2) 学校保健委員会の機能化 3 食育指導の推進 (1) くわっち～さびらの効果的な活用 (2) 栄養士との協働 (3) 弁当の日の取組 4 学校安全・防災教育の推進 (1) 日常的・定期的な安全点検・対応 (2) 各種避難訓練による危険回避能力の育成 (3) 安全指導の徹底（特に体育移動時） | 1 基本的な生活習慣の確立 ・早寝・早起き朝ご飯 ・あいさつ・返事・後始末 ・歯磨き・むし歯治療（60%） 2 学習習慣の確立 ・学習時間確保 ・様々な体験 ・忘れ物のチェック ・地域行事参加 ・様々な体験 ・てくてく登校8時登校 ・「ファミリー読書の日」 3 PTA活動の活性化 ・コロナ渦でできる活動を実施する ・家なれ一運動の推進 ・来て良かったと実感するPTA活動 ・児童理解、指導を共有 ・コロナ感染予防の共有・実践 ・各種便り等での連携・啓発 | 1 校内研修を核とした授業改善 ・学習指導要領や県や市の施策の理解と運用 ・目指す学校像・教師像 ・児童像の共有 ・校内研修における理論研と授業研を深める。 ・同僚性発揮、学び合い高め合う ・全員公開授業 ・経年研修の充実 ・隣学年研の充実 ・タイムマネジメント（考える時間確保） ・発問の精選 ・教材研究充実 (2) 児童理解を深める ・「みほそ教育」 ・勇気づけのボイスジャーナル ・児童の話や聴く ・生徒指導の三機能を活かした指導 ・児童の様子を職員間で共有する ・Iチェック等のアンケートの活用 2 業務改善と重点項目の徹底 (1) 重点項目を全職員で確実に把握 (2) 学校教育活動の重点と精選 ・努力対効果 →効果的な取組み 取組みを効果的に (3) ワークライフバランス ・職員のと心と体の健康 (4) チームで動く |
| 地域協働学校(コミュニティスクール)の充実 ～地域の教育力を生かした「地域とともにある学校」作りの推進～ ◎ 地域関係団体との密接な連携(地域連携教諭・地域コー) ◎ 各学年で地域の自然や素材を教育課程に組み込む ◎ 地域人材の計画的・効果的活用を図り授業改善に繋げる ◎ 地域行事への積極的参加と地域行事への参画 | | | | |



R→P→D→C→Aによる信頼される学校経営の推進

・教育活動の精選を常に念頭に置き、力を注ぎ徹底すべき所に集中して力を注げるようにマネジメントを行う
 徹底すべき事 ○安全・安心 ○10年後に生きて働く力をつける ○明るさ・楽しさ
 ・学校評価の充実【学校評価の考察及び学校運営協議会の機能化による学校組織マネジメントの改善】
 ・開かれた学校づくり（地域協働学校の活性化、家庭・地域・関係機関との連携、学校教育活動の発信）

評価・改善

全職員が、自分事として成果と課題を考え、同僚性を発揮して1人1人の児童の成長に責任を持ち教育活動を進める。
 （諸学力検査、学校評価、公約結果の説明・公表とそれを踏まえた学校経営の改善）
 Iチェック等による児童理解、効果的な活用